

## 平成 2 5 年 6 月 定例教育委員会会議録

日 時	平成 2 5 年 6 月 2 8 日 (金) 午後 3 時～4 時 3 0 分
場 所	秦野市役所西庁舎 3 階会議室
出席委員	委員長 望月 國男 委員長職務代理者 高橋 照江 委員 飯田 文宏 委員 内田 晴久 教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成 生涯学習課長 横溝 昭次 教育部参事 小山田幸弘 図書館長 石井 勇次 教育総務課長 山口 均 公民館担当課長 井手 則夫 学校教育課長 大津 操 教育総務課課長補佐(庶務担当) 鈴木 利昭 教育指導課長兼 教育総務課庶務班主事補 川崎 倫明 教育研究所長 杉山 哲也
傍聴者	3名
会議次第	<p style="text-align: center;"><b>6 月 定例教育委員会会議</b></p> <p>日 時 平成 2 5 年 6 月 2 8 日 (金) 午後 3 時</p> <p>場 所 秦野市役所西庁舎 3 階会議室</p> <p style="text-align: center;">次 第</p> <p>1 開 会</p> <p>2 会議録の承認</p> <p>3 教育長報告及び提案</p> <p>(1) 平成 2 5 年 7 月の開催行事等について</p> <p>(2) 平成 2 5 年秦野市議会第 2 回定例会について</p> <p>(3) 放射線量及び放射性物質の測定結果について</p> <p>(4) 「Joy!Joy!プラン」の取組について</p> <p>(5) 英語教育に関わる取組について</p> <p>(6) 平成 2 5 年度教育研究所公開講座について</p> <p>(7) 平成 2 5 年度はだのっ子アワード事業について</p>

	<p>(8) 平成25年度教科学習支援員配置状況について</p> <p>(9) 第4回親子川柳大会について</p> <p>(10) ふれあい通学合宿について</p> <p>(11) 第27回夕暮記念こども短歌大会について</p> <p>4 議 案</p> <p>(1) 議案第13号 秦野市指定重要文化財の指定に関する諮問について</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1) 平成25年度教育委員会教育行政点検・評価について</p> <p>6 その他</p> <p>(1) 報徳サミットについて</p> <p>(2) 海外姉妹都市パサデナ市訪問について</p> <p>7 閉 会</p>
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

ただいまから6月の定例教育委員会会議を開催いたします。  
 お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。まず、会議録の承認について、ご意見、ご質問等がありましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。

なお、秘密会について、ご意見をお寄せになる場合は、会議終了後、事務局に申し出てください。

—とくになし—

望月委員長

ないようですので、会議録を承認いたします。

それでは、教育長報告及び提案についてお願いいたします。

教育長

今日は、国の会議であります子ども・子育て会議に出席しまして、この教育委員会会議の時間の変更をさせていただきました。大変申し訳ございません。

資料No.1をご覧いただきたいと思います。

7月1日月曜日、第2回の園長・校長会がございます。今回は、隣の西部総合職業技術校、かなテクカレッジの会議室を使わせていただいて、あわせて先生方に中身を見学させていただきます。各学校でも会場をお借りして実施することにいたしておりますので、もし時間がございましたら、ご出席いただきたいと思います。

7月2日火曜日、北幼稚園へ学校訪問を行います。時間のご都合がつけば、ご出席いただければと思っております。

7月3日から7月6日、ふれあい通学合宿を行います。今回は

広畑ふれあいプラザを会場とし、7月6日の閉校式の折に、感謝状を送ります。

7月8日、教育訪問、本町小学校でございます。ご都合がつけばご参加いただければと思います。

7月9日と23日は、例月実施しておりますブックスタート事業でございます。

10日が赤ちゃんといっしょのおはなし会ということで、おはなしころりんのご協力をいただいて、そこに記載してあるとおり、3歳くらいまでの乳幼児とその保護者を対象として「おはなし会」を開催いたします。

7月13日土曜日、16ミリ映写機操作技術認定講習会を実施いたします。

7月16日、教育訪問でございます。ほりかわ幼稚園。これにつきましても、ご都合がつけばご出席をいただければと思います。

7月18日は定例記者会見でございます。

7月19日が終業式です。夏季休業が8月28日までという形になります。

7月19日の金曜日が定例教育委員会会議でございます。

25日、ミュージアムさくら工房「こども土の器屋」ということで、これは古墳展示館開催でして、夏休みの講座という形で企画をしているものでございます。

7月27日がふるさと秦野検定です。本町小学校を会場としておりますが、受験者数によって鶴巻小学校も会場として増やすということも想定してございます。

教育研究所公開講座、7月29日ですが、教職員、それから、一般の市民の皆さんを対象として「伝え合う力を支える文字の学習」ということで、横浜国立大学の青山先生に講師をお願いしているということでございます。

30日が報徳サミットの第4回実行委員会になります。いよいよこの秋の開催に向けて、もう日にちがなくなってきているのですが、実行委員会を開催いたします。

31日、情報モラル研修会。これは、教員を対象とした学校における情報モラルの研修会でございます。

次が情報セキュリティ研修会。これにつきましても教員対象で、情報セキュリティの研修でございます。

それから、7月31日から8月2日、広域連携中学生交流洋上体験研修。去年は台風で中止になってしまいましたが、ことしは大丈夫だろうと思っております。

それと、7月31日から8月2日まで、ミュージアムさくら工房「こどもまが玉屋」、「親子まが玉屋」ということで、これも公民館の職員が講師として対応いたします。

資料No.2「平成25年秦野市議会第2回定例会について」ご報告をさせていただきたいと思います。資料をご覧ください。

会期等は、6月7日から6月27日まででした。

議案審議、一般質問、文教福祉常任委員会と、大きく3つに分かれます。

まず、議案審議として、教育委員会からは、学校建設公社の経営状況について、地方自治法の規定に基づき、ご報告をさせていただいております。その中で、佐藤文昭議員からご質問がございました。公社の一般財団法人に移行する理由、手続、公社をいつまで存続するのかというご質問がございました。答弁については、ご覧をいただければと思います。

次に、一般質問ですが、6名の議員から6項目についてご質問がございました。学校教育、生涯学習と2つに分けますと、学校教育について4項目、生涯学習について2項目という内容です。

一般質問の阿蘇議員をご覧くださいと思いますが、ゲリラ豪雨について、2次質問がございました。その中で、仙台市教育委員会が児童・生徒に配布をしました新防災教育副読本を挙げながら、防災訓練について、中学生の参加、それに伴う共助の意識を高める防災教育の必要性についてご質問がございました。

次に、村上議員ですが、報徳サミットの取り組み、実施内容、それから、一過性のものにならないよう継続することが大切というような趣旨のご質問でございました。

次に、露木議員ですが、渋沢丘陵の霊園の建設計画がございまして、その中で埋蔵文化財はどのような調査を行っているかというご質問がございました。

それから、吉村議員ですが、広畑小学校の児童数について、今年、1年生が1クラスになったというタイミングを捉え、大根小学校との統合を考える段階に入ったのではないかと、教育委員会はどのように考えているのかというご質問でございまして。

それから、古木議員ですが、文化財の保存と活用というタイトルで、旧梅原邸の部材が末広小学校の余裕教室の中に、保管をさせていただいておりますが、今後どのようにしていくのか。それから、本町小学校や末広小学校の余裕教室及びそういう施設に寄附された民具等の保存・活用はどのようなかというご質問でございました。

次に、横山議員ですが、子供の野外活動についてというタイトルで、山岳授業や登山遠足が少なくなっている理由は何か、そういうものを実施できないかというご質問でございます。

最後になりますが、川口議員ですが、マスコミ等で話題になりました横浜市の女兒虐待事件の総括ということで、経過、課題、対策についてご質問がございました。

一般質問については、以上、6項目と言いましたが、露木議員を入れまして7項目という形になります。

それから、常任委員会です。所管事務調査がございまして、佐藤委員から、キャリア教育の現状と、かなテクカレッジの活用についてというご質問がございました。

それから、吉村議員については、図書館の窓口業務を委託しておるのですが、ここで契約を再度、入札を行いまして、それに伴うご質問がございました。

それで、この所管事務が終わった後、常任委員会の委員全員で西小学校へ行き、教室等めぐっていただき、給食を子どもたちと一緒に食べ、隣の西中学校、西公民館、西分署、これは公共施設再配置計画の中のシンボル事業として位置づけている複合化の計画がございまして、現地視察をしていただきました。

資料No.3「放射線量及び放射性物質の測定結果について」ご報告をさせていただきます。

小、中、幼、公民館等の空間放射線量の測定の結果でございます。5月20日から23日にかけて、市内の小中学校22校、幼稚園14園、公民館・図書館等14カ所の公共施設を測定させていただいた結果でございます。一番右側に測定値ということで、その結果が書いてございます。

小中学校については、1校当たり、グラウンドと側溝の2カ所測定させていただいてございます。いずれも0.02マイクロシーベルトから0.06マイクロシーベルトの範囲でございます。測定は1メートル、50センチ、5センチと3カ所の高さで測定をさせていただいていますが、一般的に、3・11の影響による放射線量がない場合でも、自然界にはおおむね0.04マイクロシーベルト前後の放射線量があるということですので、この結果と平常時と同じような数値ということでございます。

2ページ目は幼稚園14園の結果でございます。幼稚園については、小中学校に加え、砂場もあわせて測定をさせていただいてございます。これについても0.03マイクロシーベルトから0.05マイクロシーベルトと、平常時の数値でございます。

最後の4ページ目でございますが、公民館・図書館等も行ってございます。これについては、毎回そうなのですが、14、15番目に図書館は玄関前とテラスの2カ所を測ってございます。14番にコンクリートと書いてございますが、ここもレンガタイルでございます。玄関前とテラスの部分ですが、0.08マイクロシーベルトから0.10マイクロシーベルトと、ほかと比べて若干高い数字になってございます。これは、もともとレンガタイル自体に放射線を発する物質が入っているということで、原発事故の影響は考えられないという状況になってございます。この結果は、市の公式ホームページに掲載し、市民にお示しをしている状況でございます。

また、この放射線については、今後10月、1月と学期ごとに年3回測ります。仮に、国の除染基準値である0.23マイクロシーベルト以上になった場合には除染という対応をしていくこととなります。

学校教育課長

資料No.3、2枚目の裏面をご覧ください。学校給食の放射性物質の測定結果について報告させていただきます。

学校給食の放射性物質の測定は、昨年9月から、各校13校、毎週1回測定をしております。1週間分の提供した給食について測定しているものでございます。今回は直近の測定結果を報告させていただきます。

なお、平成24年度、昨年9月から実施しているこの検査については、現在まで国の食品衛生法に基づく食品の放射性物質に関する基準値を一度も超えたことはございません。

なお、このデータについては、毎週の測定結果について、市の公式ホームページ、また、保護者に対しましては、給食の献立表にも記載して、周知している状況でございます。まだ始めてから1年経ってございませんので、1年経過した後に、東海大学のご意見等を参考に今後の方向性を決めたいと考えてございます。

教育指導課長

報告(4)、(5)の教育指導課、それから、報告(6)、(7)、(8)の教育研究所について報告させていただきます。

まず、資料No.4をご覧ください。「Joy! Joy! プラン」の取組についてということで資料を用意しました。神奈川県教育委員会の委託事業であります「Lets! Enjoy! 健康☆体力づくり『Joy! Joy! プラン』」が正式名でございますが、平成23年度から渋谷幼稚園に委託を受けていただいております。神奈川県で1園のみの指定ということで、ほかからもいろいろ取り組みについて問い合わせが来ているところであります。本年度は、3年目の最終年

度となります。平成26年1月30日に園訪問がありますので、その際に、子供たちの様子、取り組みの成果等を聞いていただければと思っております。

具体的な取り組みについては資料にあるとおりですが、特に幼児期の実践ですので、3年間ですぐに成果が表れることを求めているものではありません。幼稚園での生活だけではなく、家庭生活においても運動習慣や生活習慣を改善し、日々の実践力を高めることを目指しております。渋沢幼稚園長を初め、教員の熱意、保護者の協力に支えられまして研究を続けております。

本日は体力測定を行ったということで、担当指導主事が様子を見てまいりましたが、昨年度に比べると、ボールの投げ方が、前に押し出していたのを後ろに引っ張りながら投げられるようなことがあり、少し変わってきたと印象を受けています。保護者とともに取り組むことが非常に大切なことですので、今後、東海大学にご協力いただきながら、さらに取り組みを支援してまいります。

続いて、資料No.5をご覧ください。英語教育に関わる取組について報告させていただきます。

今年度も外国語指導助手（ALT）の活用事業を行います。メンバーは資料のとおりですが、各小中学校に外国語の指導助手を派遣し、子供たちの学習、休み時間等の会話を含め、子供たちに意欲が生まれるような形で行っています。

資料裏面は、小学校外国語活動授業支援協力者、上智大学短期大学部にご協力いただいているイングリッシュフレンドと呼ばれている事業です。短期大学部英語科の学生たちが小学校に来て、担任とともに外国語活動の授業を行っております。今年は昨年より希望する学校が増え、11校になっています。

次に、インターナショナルフェスティバルについてですが、今年は11月9日土曜日に西公民館で開催いたします。本年度も市内中学生を対象に実施するのですが、大学の留学生を招き、交流会を行います。昨年は東京の大学の留学生もたくさん来ていただきました。今年も各大学に依頼を出し、多くの留学生に来ていただくと考えています。第1部では中学生によるスピーチ、英語村の報告、2部は外国人ゲスト、留学生との交流を行います。

次の3件については、市長部局と連携しての事業です。

1つ目は、坡州英語村のキャンプです。本年度も20名の中学生が友好都市、韓国坡州市にある英語村に参ります。今年は、明日2回目の研修会があるのですが、その際に外国に行った状況を想定したロールプレイを行います。実際に英語でどんなやりとり

をしたらいいか、1時間ほど事前学習等をしてまいりたいと思います。

2つ目、中学生の英語スピーチコンテストです。市民自治振興課主催で行っていますが、9月23日祝日に行われます。

3つ目、チャレンジ・イングリッシュキャンプです。こども育成課が小学生を対象に行います。1泊2日で英語に親しむ中で英語を話すことに興味・意欲を持ってもらおうという取り組みです。

それから、神奈川県中学校英語弁論大会県ブロック地区予選会というところで、全県の弁論大会があります。それに向けての地区予選が、今年は秦野の文化会館で行われます。もしお時間がありましたら、ご覧いただければと思います。

続いて、資料No.6をご覧ください。教育研究所の公開講座です。7月29日2時半から渋沢公民館で行います。これは公開講座ですので、市民も参加していただける形になっています。今年度は「伝え合う力を支える文字の学習」、先ほど教育長から話がありましたが、横浜国立大学の青山准教授にお願いいたします。

青山先生は、神奈川県教育委員会の学びづくりの研究でもご指導いただいています。また、テレビ等で、美しい文字を書くということについて、大変ご活躍の先生です。昨年、教員向けの研修に来ていただいて、大変好評で、さらに広めてやってほしいという要望もありまして、今年度、公開講座でお願いすることになりました。日本人として美しい文字を書けばよいというだけではなく、伝え合うことを大切にした文字の学習についてのお話、実践をやっていきたいと思います。

続きまして、資料No.7、はだのっ子アワード事業について報告いたします。1枚目、「はだのっ子アワードとは何ですか？」というところですが、「秦野を愛する子どもを育むために、秦野について学習した子どもたち、秦野について体験した子どもたちを表彰する」ということで行っています。対象となった子供たちには、市長から直接表彰の盾が贈られます。本年度もはだのっ子アワード運営委員会を開催し、今年度の取組みについて確認いたしました。本年度も、文芸部門、体験活動部門、ふるさと秦野検定部門の3つについて、アワード対象としております。各部門の詳細は、資料をご覧くださいと思います。

なお、ふるさと秦野検定は7月27日土曜日に開催いたします。

最後に、資料No.8をご覧ください。教科学習支援員についてでございます。これまでも何度か報告させていただいておりますが、



5月末から各小中学校に子供たちの学習支援ということで大学生に入らせていただいております。

目的は、大学の学生に教科学習支援員として協力してもらうことによって、小中学校の各教科指導における学習活動の充実・活性化を図ること。大学生にとっては、教職に就きたいという方もたくさんおりますので、教職理解を促すということ。学校にとってもボランティアの学生にとっても、よい成果が出ることを期待しております。

配置状況は、資料にあるとおりでございます。東海大学近隣の小中学校には多くの学生が派遣されております。学生の日常の講義の日課等の関係もありますので、このような配置になっております。大根、鶴巻地区以外の学生には、交通費程度の謝礼のみお渡ししております。今後、学校や学生から状況を聞き取りながら、よりよい授業となるように、事務局でもサポートしてまいりたいと思っております。

それでは、資料No.9、資料No.10についてご報告させていただきます。

資料No.9が親子川柳大会についてでございます。今年度で4回目を迎えるということでございますが、昨年度は夏と秋の2回、作品募集を行い、1,541句の応募がございました。今年度は、夏季のみという形で実施していきたいと考えてございます。募集の期間は、7月17日から9月6日までで、学校等をお願いしている状況です。また、表彰式を図書館と一緒に11月16日に行うということで、進めてございます。

資料No.10、「ふれあい通学合宿」でございます。「通学合宿」は、平成15年度から大根中学校区の児童を対象に、学校、PTA、教育委員会をはじめ、地域の意欲ある団体やボランティアが連携し、通学合宿を実施しているということでございます。

今年度については、7月3日から6日の3泊4日で実施するものでございます。活動の場所は、昨年度は大根公民館でしたが、今年は広畑ふれあいプラザで行います。

参加者は、大根・広畑小学校4年生から6年生、49名でございます。

また、学生リーダーの補佐役として、大根中学校の生徒も10名参加していただけるということでございます。

裏面ですが、参加費は、小学生、3泊4日で4,000円です。

それから、活動の内容については、日常生活体験、「もらい湯」の実施、長寿会との交流活動という形で予定をしております。

図書館長

また、地域の支援体制でございますが、今年は17名参加していただけるということでございます。東海大学ローバースカウト隊に活動全般の世話役ということで手伝っていただきます。その他、幼稚園の職員、小学校PTA、看護ボランティア、一般ボランティア等で3泊4日の通学合宿を実施するということでございます。

それでは、「第27回夕暮記念こども短歌大会について」ご説明いたします。資料No.11をお目通しいただければと思います。

今年、生誕130年を迎えます前田夕暮を記念いたしまして、市内の小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒を対象とした短歌の作品を募集しまして、優秀作品を表彰いたします。

また、今年は第19回全国報徳サミット秦野市大会がありますので、その記念事業という位置づけもありまして、二宮尊徳にちなんだ作品についても広く募集し、特別賞を設けて優秀作品を表彰したいと考えております。

作品については、9月13日図書館必着で応募を呼びかけます。

裏面ですが、今回は部門を2つに分けております。従前行っています自由題部門、もう一つは報徳部門、2つの部門に分けております。

応募については、自作の短歌1人2首、自由題部門と報徳部門、各1首ずつ可と考えております。

選者及び講評については、村岡嘉子先生をお願いしております。

賞については、資料に記載してあります下記の賞を表彰したいと思っています。

表彰式については、先ほど生涯学習課長よりお話がありましたが、11月16日土曜日午後1時半からの表彰を考えております。場所は秦野市文化会館展示室です。

ちなみに、作品について、昨年度は全体で2,346首の応募がありましたので、今年度もそれに近い形の数字になるように努力したいと思い、学校等への依頼をしたいと考えております。

望月委員長

ありがとうございました。

それでは、教育長報告及び提案について、質疑に入りたいと思います。次第番号2の議会報告もありますので、(1)から(5)まで前半、後半は(6)から(11)と、分けたいと思います。

まず、(1)から(5)まで、質問、ご意見ありましたら、お願いいたします。

飯田委員

洋上体験についてなのですが、今年度は何名ぐらいの参加者がいるのでしょうか。

生涯学習課長	今年度は、秦野市50名、その他市町村50名、合計100名、満員となっております。
飯田委員	この募集枠というのは、秦野50名と、他市町村50名というのはもう動かさないものなのですか。なぜこのような話をするかといいますと、中郡のPTAから、ぜひ参加したいという話をされていたのでお聞きしたいのです。
生涯学習課長	枠はそんな形で決まっております。以前、秦野市の枠である50名の中で参加者が集まらなかった時がありました。その年は融通して他市町村の参加者に割り振ることもございましたが、今回は珍しく全枠うまりました。急遽、風邪等で欠席者がいるかもしれませんが、今のところは参加者100名ということでございます。
飯田委員	わかりました。ありがとうございます。
望月委員長	うれしい悲鳴ですね。今まで、参加者数についてどうしようか、ずっと悩んできたことですからね。
生涯学習課長	例年、どこかが定員に満たないことがあるのですが、去年中止になったことも影響しているのかもしれませんが。
望月委員長	洋上体験ですが、医者に参加することができるか相談しましたが、やはり暑いから参加はやめたほうがいいと言われました。暑いから大事をとってドクターストップがかかってしまいました。いつか、参加したいと思っているのですが。
高橋委員	ほかにありますか。
高橋委員	資料No.4の「Joy! Joy! プラン」ですが、この委託事業、大変素晴らしいと思うのです。23年度から始まって、今年の新1年生は2年間、運動について経験した子どもたちですね。こういう事業は本当に家庭の協力なくしてできないと思うのですが、保護者の反応、協力度というのはどのくらいのものなのか、わかりましたら教えてください。
教育指導課長	保護者のご協力ということで、先ほども少しお話ししましたが、幼稚園だけの努力ではだめなのだそうです。毎日運動を60分間することが目安なのだそうです。毎日ということは土日も運動をするということなので、土日も含めてやっていただいているそうです。現在、万歩計を保護者と子どもと両方、2人でつけて土日を過ごしていると聞いています。ただ歩くだけではなく、土日に親子で遊びながら運動をしていくということで協力いただいていると聞いています。
高橋委員	この60分というのは、登下校等の時間も含まれるのですね。何か、この事業で変わったというか、もちろん個人差もあります

	<p>が、何かの傾向が出てきたら、すごくいいことだなと思います。</p> <p>それと、8月3日に全国で大会発表されるそうですが、国公立幼稚園は全国にどのぐらいあるのでしょうか。</p>
<p>教育指導課長</p>	<p>平成23年5月1日現在の学校基本調査では、公立幼稚園が全国で5,024園、国立が49園、私立が8,226園です。全国の幼稚園合計が1万3,299園でございます。</p>
<p>望月委員長</p>	<p>私も「Joy! Joy!」を大変注目しているのです。1つは、東海大学の知念先生と内田先生、非常に熱心な先生なのです。よく渋沢幼稚園に足を運んでくださっているのです。私もお会いすればいつも感謝しているのです。東海大学の専門家と教育委員会、園と保護者が連携しており非常に注目しています。</p> <p>もう一つは、これは体育での有能感の育成ですね。こうした幼稚園での取り組み成果として、有能感がどの程度育っているか。それによって、子供たちが小学校に入ると生活環境が変わってくるわけです。自分で自信を持ったりします。しかも、1、2年間ではなく、3年間研究しているのですから、非常にその成果に注目したいと期待しています。</p> <p>2人の先生も非常に安いお金で来てもらっているのです。本当に頭が下がる思いがします。そういうことで、ぜひ教育指導課もバックアップして、何か秦野から全国に発信できるといいと思っています。</p>
<p>内田委員</p>	<p>知念先生は、ご参考までになのですが、大学教員ではあるのですが、7、8年前までは附属幼稚園の教諭をやられていたということで、幼稚園教育に関しては、実務経験をたくさんお持ちの先生です。遊びという視点で、大学の中で、いろいろな行事、カリキュラムとは別のところで、高校生とか中学生の遊びという中で体力づくり、いろいろなプログラムを展開されている先生です。とてもいい内容が実現できるのではないかと考えています。</p>
<p>望月委員長</p>	<p>ほかにありますか。</p> <p>議会報告についてですが、佐藤議員のところ、興味のある内容だと思ったのですが、回答の中に、本市でも昨年度、150名以上の中学生が防災訓練に参加しているため、引き続き、中学生に訓練への参加を促し、「助けられる側」から「助ける側」へという「共助」の意識を育てるとのことなのですが、この防災訓練はどんな内容、防災訓練に参加しているのですか。</p>
<p>教育指導課長</p>	<p>秦野市の防災訓練は、以前は全て学校に集まって、中央会場みたいな形がどこでもやられたのですが、今は各自治会の自主防災会ごとに行う形が多いのです。学校では子どもたちが何人来てい</p>

望月委員長  
教育指導課長  
教育長

るかというのは把握しづらいのです。それで防災課に確認をしたところ、各自主防災会で中学生が何人来たかという把握しており、合計したところ、150名ということでございます。

各自治体単位の訓練に参加しているということですね。そういうことです。

中央会場を持ち回りで行っているのです。その場所で、何年前でしょうか正確にはわかりませんが、ある中央会場に中学生が参加し、バケツリレーを行っていました。中央会場には少なくとも中学生が参加していました。

望月委員長

各自治体単位の小さな防災訓練、避難訓練のときに、中学生が参加するということはすごく意味があることなのです。なぜかという、高齢社会を迎え、参加者にお年寄りが多い。そうすると、そこに中学生が参加することは、精神的にも助けられます。何かあったら、中学生なども我々のためになってくれるという、精神的な面でも非常に助かります。

こうしたことは、コミュニティースクールなどの実践報告からもわかります。ですから、これからもう少し広まるといいかなと思っているわけです。

それでは、ないようですので、次に、(6)から(11)に移ります。いかがでしょうか。

飯田委員

資料No.10の「ふれあい通学合宿について」なのですが、以前、2、3年前には、ほかの地区でも実施しようという動きがあったように覚えているのですが、今は大根地区だけだということで、そのときは大学生の協力もあって大根地区でできるということでしたが、今後、ほかの地区での開催、実施等は何かお考えがあればお聞かせいただければと思います。

生涯学習課長

これについては、生涯学習推進計画の中に位置づけられ、27年度までに3地区で実施という目標を掲げているわけでございます。そのような中で、昨年度も学校等に協力していただいた中で進めてきたわけでございますが、なかなか受け入れがうまくいかないところがございます。これについては引き続き、3地区を目標にということでやっておりますので、学校の了解、協力が得られれば、他地区でも実施していきたいと考えています。

望月委員長

もしお時間があれば、夜でも行ってみると参考になると思います。初日と最終日とはかなり子どもは変わってきます。

それから、東海大学の学生の協力を得るのに都合がいいのは、この活動に参加してから、午前9時20分から授業に参加できるということです。そのため、東海大学の学生は積極的に協力でき

るというメリットがあるのです。これが遠い場所となると、1時間目の授業は出られないということになり、それは無理なのですが、私や内田先生が関係している学生には話をしてみようかと思っています。広畑地区で続いているというのは、そういう地の利もあるということなのですね。

はだのっ子アワードのですが、報徳サミット関係の問題は入っていましたか。

教育指導課長 一応、出題されるものの候補としては入っています。今年はそのような年なので、そののところを出したいなと思っているのですが、問題の公開につながりますので控えさせていただきます。

望月委員長 その辺も考えていいのではないかと思います。

それから、安居院庄七もこういう機会にいろいろと市民啓発活動になるのではないかと思います。

ほかにどうでしょうか。

このアワードは市長が直接渡して、子どもも喜びますね。

それでは、次に議案に移りたいと思います。本定例会には3件の議案が提出されています。

生涯学習課長 まず、「議案第13号 秦野市指定重要文化財の指定に関する諮問について」の説明をお願いいたします。

では、「議案第13号 秦野市指定重要文化財の指定に関する諮問について」ご説明いたします。

今回、対象となる物件は、二子塚古墳出土の銀装圭頭大刀でございます。これについては、平成22年4月16日に出土いたしました。その後、保存処理を終了し、現在、桜土手古墳展示館で保管している状況でございます。この大刀については、全形がわかる大刀として、県内では初めての出土でございます。そういうこともございまして、今回、秦野市指定重要文化財の指定について、文化財保護委員会に諮問したいと考え、今回提案させていただきました。

望月委員長 この件については、この会議内でさんざん議論し、ここまで来たということですね。本件についてのご質問、ご意見はよろしいですか。

それでは、「議案第13号 秦野市指定重要文化財の指定に関する諮問について」原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

望月委員長 よって、議案第13号は原案のとおり可決されました。

次に、協議事項に入ります。「協議事項（1）平成25年度教

育委員会教育行政点検・評価について」の説明をお願いします。

協議事項(1)という資料をご覧ください。この点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で義務とされている教育委員会の点検・評価でございます。既に5月24日に開催をいたしました教育委員会会議の際に、今年度のスケジュール、進め方等、ご協議をいただいているものでございます。

今回は、2ページほどめくっていただくと目次がございます。前回の際に第1章の点検・評価の概要についてはご協議をいただき、それに沿って進めている状況ですが、今回は第2章、6ページから、教育委員会の活動状況について案を出していただきました。

活動状況としましては、今日開いてございます定例教育委員会、また臨時会等が、6ページから8ページまでの18回開催し、その案件の内容で、8ページからは、教育委員会の中で案件として、請願、教育長報告以下、審議をした案件の内容が16ページまで、案件名とともに記載をさせていただいております。

17ページからが教育委員会会議以外の活動ということで、県の教育委員会連合会の役員会、総会、また学校訪問等、いじめを考える児童生徒委員会等、教育委員会以外の各種事業等への参加をしていただきました状況が19ページまで書いてございます。

そういう部分をまとめたものが20ページにございます。活動状況の点検・評価ということで、20ページに件数等をまとめて記載をさせていただいております。

次に、教育委員会の役割についてという部分で、指揮監督等ということで、教育委員会に提出した案件が170件、その中で、教育委員会会議の中、改善・充実等の指示・意見があったものが34件ございました。改善等の反映の状況でございます。反映したものが13件、検討・一部反映が20件、1件が未実施ということで、この未実施は、広畑ふれあい塾のサテライトとして公民館で実施をしている部分、渋沢、南公民館と出ているわけですが、公民館実施事業として、広畑ふれあい塾という冠をとった事業にしたかどうかというお話があったのですが、24年度についても同様の扱いでしたので、意見を反映ができなかったという部分です。そのほかは、反映もしくは検討という状況です。

右側、会議の活性化ということで、会議の開催、定例会は毎月ございますので12回、臨時会は6回開催しました。前回は昨年2回でしたので、必要に応じて、臨時会を開催しています。緊急な教育課題に対する対応のために、昨年度は回数を多く開催した

ような状況です。欠席委員数は昨年も一昨年も0名でございます。

教育委員会会議以外の活動ということで、参加数31回、参加委員延べ81名です。その内訳、学校訪問等から、教育委員会会議以外の活動に31回参加をいただいている状況です。

活性化への取組みとして、事務局の取組み部分になりますが、資料を会議開催の3日前に事前に配付して、報告の疑問点、規則の改廃に当たっては、必ず前月定例会で協議事項として提出し、協議をいただいた後、議案として提出する。また、予算については、同様に策定の段階から協議をいただいています。具体的には、11月定例会から2月定例会まで毎月、予算についてご意見をいただいている状況です。また、それに伴い、市長との懇談等を行い、審議時間の確保に努めている状況でございます。

21ページ、傍聴者数です。23年度、28名、昨年52名と大分減っているわけです。23年度は中学校教科書の採択があったため、傍聴者数が多かったという状況です。そのほか、会議録はホームページで公開しています。

同様に、「秦野の教育」を市のホームページに常時載せて、公開をしています。同様に委員会の開催日時もホームページに事前に掲載しています。

毎年、視察については、今後の課題を検討していこうと言っていたのですが、24年度については、学校訪問は12回、昨年4回ですので、回数が非常に増えています。また、千葉県と韓国坡州市に2回ほど視察を行いました。

研修会も県の教育委員会連合会の研修会に2回参加をいただいていたという状況でございます。

22ページには総合評価ということで、臨時会を2回から6回、開催回数が増えることがいいことではないですが、緊急を要する教育課題等の議論を行うということで、臨時会等を行ったという文言を入れさせていただきました。

あと、中段以下に「平成24年度は」ということで、先進地の視察、千葉県の八千代市、八街市、友好都市の韓国坡州市に現地調査の実施という部分をここに加えさせていただいております。

最後に、今後も、山積する教育課題に対して適切に取り組んでいく、地域や教育現場の実情に総合的かつ計画的に対応する教育行政の実現に努めていきたいということで締めさせていただいている総合評価を記載させていただいております。

その後ろのページは、23年度の主要施策の点検・評価を24年度に実施したわけですが、その時の評価がBランクと評価され、



改善・検討が必要と評価されたものについて、その要旨と担当課の対応状況をつけさせていただいております。

最後のページ、スケジュールでございます。既に5月定例教育委員会会議が終わった後、自己評価を行い、自己評価を終えましたので、施策に係る小中学校長・園長、社会教育委員、図書館協議会委員が内部評価を実施しているところでございます。この内部評価が終了し次第、学識経験者2名に意見を聴取し、8月上旬と書いてございますが、後ほど、この学習会の日程等を調整し、学習会を行い、8月16日の教育委員会会議に議案として提案をしていくという流れです。

前年度までは、7月の教育委員会会議の際に「教育委員会の活動状況」を見ていただき、8月の教育委員会に議案として提出しておりましたが、今年度は勉強会の前に、自己評価から内部評価まで終了した24年度の主要施策点検・評価を7月の教育委員会会議の際に提出し、お目通しをいただく予定であります。

最後は、9月の議会以降に議決をいただいた点検・評価の報告書を、法律に従ってということになります。報告をする段取りです。

望月委員長

何か質問、ご意見ありますか。

飯田委員は点検・評価を行うのが、初めてで、うまくイメージがわからないかもしれませんが、これを差し当たり読んでいただいて、それでわからないところがあれば、教育総務課に聞いていただけたら、よろしいかと思います。

教育総務課長

8月上旬に学習会を開催するのですね。

例年、学習会の開催時期は8月上旬なのですが、今年も同時期に行いますと日程が詰まってしまうので、7月末に学習会を開催したいと考えております。

望月委員長

学習会の時に、我々は各部門、担当ごとに分かれるのですね。

教育総務課長

そうです。

望月委員長

わかりました。

それから、細かいことですが、3ページの教育に関する学習経験者とありますが、これは今年度の役職でよろしいですか。

教育総務課長

これは今年度になりますので、修正させていただきます。

望月委員長

今まで、外部の意見の聴取のとき、例えば、社会教育施設や学校を見学されたいというご要望等は今までありましたか。

教育総務課長

生涯学習関係の知見をいただく逢坂先生は従来から社会教育委員をやっていただいております。また、この6月から社会教育委員会議長ということもありまして、特別言われたことはございま

望月委員長

せん。

そうですか。今年度、私は神奈川県立高校の第三者評価委員に指名され、何回か秋には学校へ行き、授業等を見て、最終的に評価をしていく予定です。もしお2人からそういう要望があれば、実際の学校、図書館施設などを見てもらうと、また違うのではないかと思います。

ほかにどうでしょうか。

では、本件について、わからない点等がありましたら、教育総務課と連絡し、対応をしていきたいと思えます。

次に、その他の案件に入ります。「(1)の報徳サミットについて」の説明をお願いいたします。

生涯学習課長

報徳サミットの関係について、報告させていただきます。

お手元にスケジュールを配付してございます。現在、10月19日の報徳サミットの開催に向け、準備を進めているところでございます。のぼり、横断幕、ステッカーの設置がおおむね完了し、PRに努めているところでございます。また、記念グッズ、ポスターも、準備中でありまして、近々でき上がるということでございます。

今日お話ししたいところは、7月以降の予定等について、説明できればと思えます。資料2枚目からが事業になっていますが、9番の親子向け講座の開催ですが、8月に予定しており、公民館で紙芝居、陶器での金次郎像作り、あんどんづくり等の体験学習を行いたいと考えてございます。現在、日程も決まっておりますので、7、8月に実施できるように進めてございます。

それから、10番の報徳仕法を知る講座の開催ですが、小田原博物館の先生に来ていただいて講義をしていただく予定でございます。この中身は、安居院庄七、草山貞胤をメインとしまして、講座を開設いたします。現在、広畑ふれあい塾、婦人会、東地区の自治会、給食調理員等の団体に講座をやっていただくという形で日程調整等の詰めをしているところでございます。

それから、11番の講演会の開催でございますが、8月10日、二宮尊徳、報徳仕法等を知るための講演会を予定してございます。これは、文化会館大ホールで講演会を開催する予定でございます。教育委員におかれましても、出席していただければ思えます。

それから、12番は市民大学の開催でございます。市民大学、東海大学に実施していただいているわけですが、今年度は、二宮尊徳関係のプログラム講座をやっていただくということでございます。日程的には、9月28日、10月5日の2日間を予定して

ございます。

それから、13番でございます。報徳ゆかりの地を訪ねるツアーの開催ということで、安居院庄七ということで掛川、尊徳ということで小田原、この2コースを考えてございます。これについては、8月に実施するというので、農協と調整をさせていただいているところでございます。

それから、14番、学校授業での尊徳学習ということで、小学校で尊徳の学習を取込んでいただきたいとお願ひし、現在、二宮金次郎の小冊子を準備しているところでございます。その中で、尊徳学習としてこの資料を活用していただければと思います。

それから、15番、子ども市展です。子ども市展は、毎年、美術、写真、書道の3つを行っていますが、今年度はサミットの開催ということで、書道部門に報徳部門を設置し、作品の募集をさせていただくということで、現在のところ考えています。

それから、16番でございます。こども短歌大会「報徳部門」の開催ということで、先ほど図書館長から説明ございましたとおりでございます。

それから、17番です。尊徳コーナーの設置です。これについても、図書館、学校に報徳関連図書を配付し、図書コーナーを設けていただいて、夏休みに学習の場の提供をしたいと考えてございます。図書館では尊徳コーナーを設置してもらい、学校においては、夏休み前に尊徳コーナーを設置していただくような形で現在進めているところでございます。

それから、18番、さわやかウォークの開催でございます。これは、従来から実施していますが、サミットの開催に合わせ、報徳プレミアムコースを設けていただき、ウォーキングの中で市民に報徳関係のところを知っていただくということで、今回、入れさせていただきます。これから具体的に詰めていくところでございますが、今、ご説明したような形で、これから事業を展開していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

ありがとうございます。

1番から8番までの間で質問、ご意見、ありますか。

この間、私も尊徳コーナーの堀川公民館に行ったのですが、そこに記帳するところがありました。今の入りぐあいを調べておいてください。

調べておきます。

堀川公民館にある記帳を見るとなかなか人が入っているのです。市の啓発活動が徐々に浸透していると思ったのですが、これ

望月委員長

生涯学習課長  
望月委員長

生涯学習課長  
望月委員長

からずっとやりますのですね。

回っていきます。

では、9から12でありますか。

10、11、12がよくわからないのですが、11は8月10日、文化会館で講演会をやるのですね。それはわかりますが、10番の二宮尊徳や報徳仕法等を知るための基礎講座は、東海大学との提携で行うものと何が異なるのですか。例えば、基礎講座というのはどのような講座なのですか。

生涯学習課長

基礎講座と書いてありますが、8月10日は二宮尊徳に限定した話になると思います。その中で、10番の報徳仕法を知る講座は、尊徳も入りますが、安居院庄七、草山貞胤をメインとした講座をやっていたらこうと考えております。そこが10と11の違いです。

望月委員長

では、草山さんと安居院さんをメインにしながら、これから日程などを組んでいく。

生涯学習課長

日程については、おおむね固まってはございます。8月下旬にやっていただくように調整しているところでございます。安居院庄七、草山貞胤の資料も作成中でございまして、近々上がる予定と聞いております。それを使って講座をやりたいということでございます。

望月委員長

私も、これを機会に少し尊徳を勉強しようと思っております。それでいろいろ関係の本などを読むと新しい発見もあり、おもしろいと思います。市内の尊徳像も全部写真におさめたり、市民会館も2回ぐらい行ったりしているのです。肝心の本市の出身の安居院さんと草山さん、特に安居院さんは、いろいろ諸準備等もやっていると思うのですが、尊徳と安居院とセットになって啓発活動をやったらいいと思います。尊徳一辺倒で、肝心の2人がかすんでいるような感じです。これから安居院庄七等について啓発活動が必要なのではないかと思います。

図書館長

12番の東海大学の提携事業ですが、これは従前から東海大学と図書館で提携しておりまして、市民大学ということで講座を年3講座ほど持っております。今年は報徳サミットがありますので、その中で二宮尊徳について、大学の先生から講義という形で、専門性を生かして、市民向けに講演をお願いしたいと、先々週、東海大と打合せました。先ほど生涯学習課長が申しました、9月28日と10月5日の午後、2回に分けて、二宮尊徳についての講座をお願いしたいと話しを進めております。

望月委員長

明日の映画祭と同じですね。明日の午後ですね。

図書館長  
望月委員長  
図書館長  
望月委員長  
図書館長

そうです。あした2時になります。

10日も同じ先生ですか。

同じ先生が2回の講座を行います。

名前がわかったら教えてください。

企画課を通して調整を行っておりますので、確認いたします。

望月委員長

私も、尊徳に通じている先生がいるなら探してみようと思ったのです。その先生と会っていろいろ話をしてみるとおもしろいかなと思って聞いたのです。

内田委員

戻ってしまいますが、8番のキャラクターピンバッジ等の制作・啓発とあるのですが、これはどんな伝え方をされるのですか。どこかで販売とかをされているのですか。

生涯学習課長

利用の方法は、講演会等に来ていただいた方にお渡ししようと考えております。

あと、講演会等で募金も考えておりまして、募金をされた方にお渡しする、そういうような形でキャラクターグッズを使っていきたいと考えています。

望月委員長

それでは、13から15ですが、何かありますか。

ツアーの開催ですが、これは、市民向けですか。

生涯学習課長

これは、農協との共催という形で実施させていただこうと考えております。掛川と小田原ということですが、定員は40名から45名を考えておりますが、すぐに定員いっぱいになってしまうのではないかと考えております。余るようであればまた声かけさせていただきますので、よろしく願いいたします。

望月委員長

では、お待ちしております。

14番の、尊徳記念会館のボランティアでやっている先生の話の本町公民館で、退職公務員連盟の開催であったのです。1時間半ばかり聞いたのですが、小田原の小学校4年は、以前からだと思うのですが、道徳で二宮尊徳をやっているらしいのです。これをきっかけに、秦野でも将来的にはそういうことも視野に入れていくこともいいと思ったのです。そんなようなことを思ったので、検討の余地があれば検討してほしいと思うのですが、学校ではどんな状況なのですか。

生涯学習課長

尊徳関係では、金次郎の関係の冊子をつくり、DVDを用意しましたので、それをもとに道徳の授業で使用していただければとお願いしているところでございます。

時期的なものなのですが、できればサミット開催までにとお願いしているのですが、もうすぐ夏休みになってしまいますので、

	<p>できれば年度通した中でやっていただければと小学校長にお話はしてございます。</p> <p>状況としては、二宮尊徳の関係は、授業でやっていただいているところはほとんどない状態です。これを機会に、委員長言われるように、来年度以降も続けていければと考えております。</p>
望月委員長	<p>13から15、いいですか。</p> <p>では、16から21までどうですか。</p> <p>18番の報徳プレミアムコースがあります。これは初めてですか。</p>
生涯学習課長	<p>そうです。ゆかりの地、なかなか場所的にはないものですが、金次郎像があるところ、草山貞胤に関係する所を見ていただこうということで、コース10キロを設定し、そこを歩いていく形で予定してございます。</p>
望月委員長 生涯学習課長	<p>おもしろそうですね。</p> <p>おもしろくしなければいけないとは思っているのですが、なかなか、そういう適当なところがないのですが、もうコースも大体固まってございますので、農協の安居院庄七を見ていただいたりとかしながら、歩いていただこうと考えています。</p>
望月委員長 内田委員	<p>ほかにどうでしょうか。</p> <p>19番の関連菓子の販売は、市内のお菓子をつくっている会社に協力をお願いするのでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>ご指摘のとおりでございまして、これから具体的に詰めていくところでございます。ただ、詰めている中で問題なのは、新たなものはなかなか難しい気もしますので、今回、代表とこれから詰めさせていただいて、準備できればと考えています。</p>
内田委員	<p>これはお菓子だけでなく、秦野の市内のいろいろなところに声をかけて、商品化できるといいですね。そうすると、市内全体で盛り上がっていただけるのではないかと思います。</p>
望月委員長	<p>ほかにどうでしょうか。</p> <p>頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、次に入りたいと思います。その他の「(2) 海外姉妹都市パサデナ市訪問について」説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>パサデナ市の訪問については、5月定例教育委員会会議で委員長からご報告いただいております。お手元にごございます報告書については、市長部局の市民自治振興課から報告を資料として提出していただいたものでございますので、委員の皆様におかれましては、ご一読いただきたいと思っております。</p>
望月委員長	<p>では、これを読んでいただいて、後でまた質問があればお答え</p>

教育指導課長

いただきたいと思います。

ほかにその他の案件はございますか。

先日、教育委員のお宅に届けさせていただいた研究冊子ですが、いずみの状況をまとめた冊子の他、幼小中一貫教育の中で、小中一貫で、文章を書くことについて、子供たちが進んで書けるようにしようということで作った冊子を作成しました。また、算数・数学で、今まで計算領域はやってきたのですが、今回、図形領域ということで、平面図形のプリントについて作成し、これらは自分がわかるところまで戻ってできるということで、そういう意図でつくられて、学校に置いて自由に使えるということになっております。

それから、体育では、小中の一貫した体育の指導の研究冊子が出ます。

それから、幼小中一貫で防災教育、具体的に授業や学級活動等でどんなふうにとったらいのかということで、指導事例、指導案の形でつくらせていただきました。

最後に、「探求」という自主研究の冊子があります。またお時間があるときにゆっくり見ていただいて、ご感想等いただければと思います。

望月委員長

非常にたくさんですが、これは文化会館で教育発表会を行いますね。

教育指導課長

本年度、8月19日月曜日午後、文化会館小ホールにおいて、教育研究発表会を行います。その際に、全てではないのですが、この中の幾つかの研究について発表させていただきます。

なお、この研究発表後、幼小中一貫教育のこれまでを振り返り、今後について語り合うということで、幼小中一貫教育を語り合う集いということで開催を予定しております。次回教育委員会で報告させていただきます。

望月委員長

その他の案件で、ほかにありますか。

それでは、6月定例教育委員会を終了いたします。